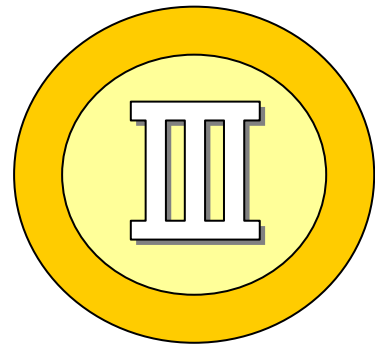




平成 29 年 度 予算編成方針に 掲げた重点施策

平成 29 年度予算は、以下の 3 つの重点施策を定め編成しました。

- 1 安全・安心で快適な都市の魅力を発展・成熟させる取組
- 2 夢と希望に満ちた子どもの明るい未来につなげる取組
- 3 住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられるための取組

ここでは、平成 29 年度の重点施策の中から新規事業、臨時事業、レベルアップ事業を中心に紹介します。

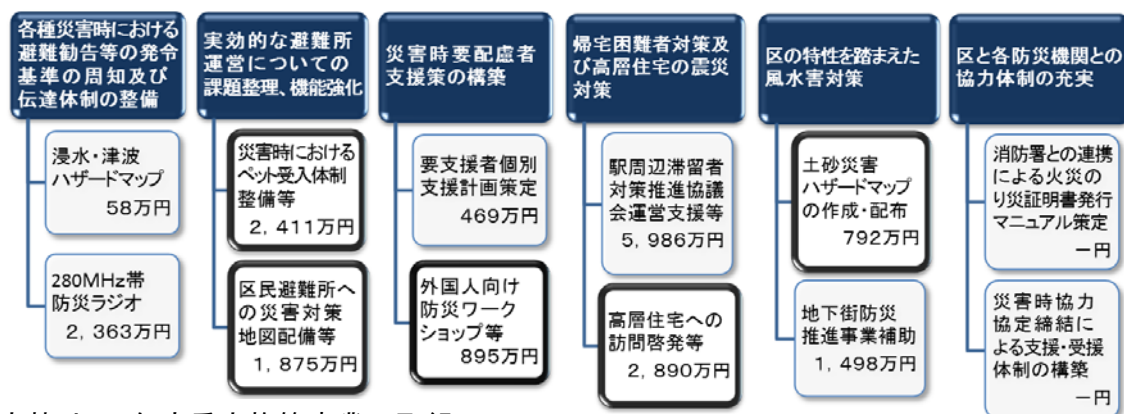
1 安全・安心で快適な都市の魅力を発展・成熟させる取組 448億2,302万円

● 首都直下地震等への備えの強化の取組

393 億 2,703 万円

- 土砂災害ハザードマップ（自然斜面）の作成・配布、災害時におけるペット同行避難など、熊本地震や近年の自然災害の教訓を踏まえた港区地域防災計画（平成28年修正）に基づく取組を実施します。
- 高層住宅の震災対策を促進するため、防災カルテを活用した直接訪問による周知啓発など「自助」「共助」の支援をしていくとともに、「自助」の取組の一つである家具転倒等防止対策についても、取付支援対象の拡充など一層の促進を図ります。
- 旧耐震基準の分譲マンションの耐震化に向けた助成制度の拡充により、新たな耐震改修促進計画で設定する住宅の目標耐震化率「平成32年度末までに95%以上、平成37年度末までに概ね解消」を達成します。
- 首都直下地震等の将来の突発的な財政需要に対する備えとして、平成34年度末までに震災復興基金を1,000億円確保するため、震災対策基金残高120億円と合わせ、29年度に基金残高が目標額の5割程度となるよう380億円を積立てます。

港区地域防災計画(平成28年修正)の取組内容



※太枠は29年度重点施策事業の取組

● 区内産業の発展と新たな産業の創出・育成の取組

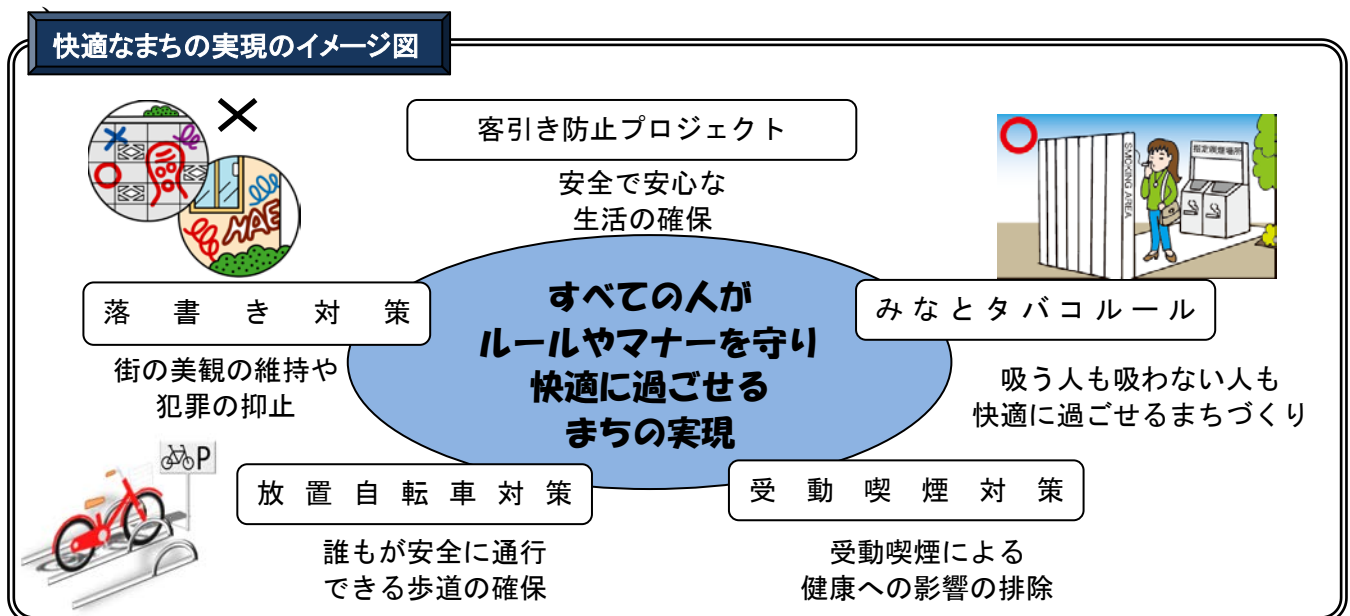
2 億 7,224 万円

- 中小企業の産業見本市等への出展を促進し、発注及び販路の拡大を図るため、海外の産業見本市への出展に係る経費の補助を拡充するとともに、中小企業診断士等による各種セミナーを実施します。
- 中小企業の技術開発力の向上を促進するため、都立産業技術研究センターの先端機器の利用及び依頼試験に係る経費の一部を補助します。
- 区の産業振興施策を総合的に推進する中核施設となる（仮称）産業振興センターについては、平成33年度の開設に向け実施設計を実施します。

● まちのルールを守り、快適に過ごせるまちづくりを推進するための取組

7億5,770万円

- 生活安全パトロール隊の配置班数を拡充し、平成29年4月1日施行の「港区客引き行為等の防止に関する条例」に基づき、公共の場所における客引き行為等に対する指導を徹底していくことで、客引き行為等のないまちを実現します。
- 街の美観を維持し、快適で安心して過ごせるまちを守るため、区民との協働による落書き消去活動や消去物品の支給など落書きのないまちづくりを推進します。
- たばこを吸う人も吸わない人も快適に過ごせるまちを実現するため、指定喫煙場所の整備や在勤者・観光客等への啓発活動を強化し、「みなとタバコルール」の一層の浸透をめざします。
- みなとタバコ対策優良施設制度における最優良施設の表彰や制度の啓発強化に取り組み、区の受動喫煙防止対策を推進します。



● その他の取組

事業名	予算額
市街地再開発事業支援	38億3,641万円
都市計画道路整備	2億3,902万円
小型街路灯LED化推進	1億4,650万円
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた道路の整備	1億2,383万円
都市計画公園整備	7,239万円
災害対策本部	2,528万円
健康危機管理対策の強化	1,044万円
食品廃棄物・食品ロス削減推進事業	958万円
景観形成推進	261万円

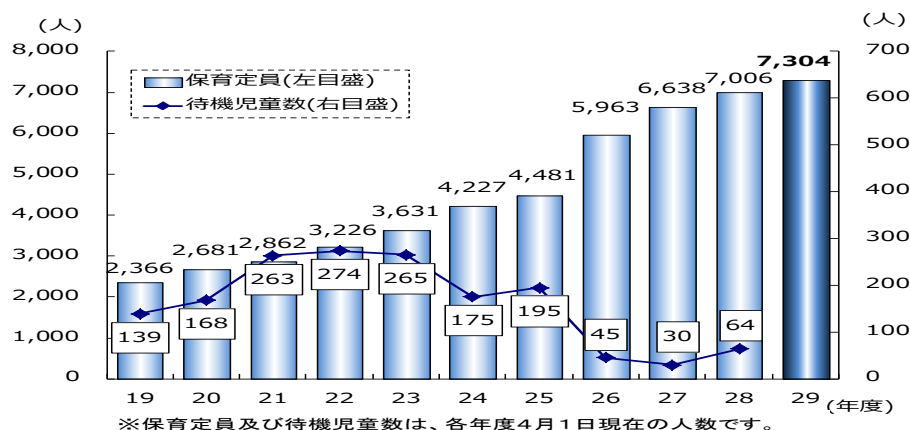
2 夢と希望に満ちた子どもの明るい未来につなげる取組 103億8,012万円

● 待機児童ゼロに向けた取組

76 億 3,575 万円

- しばうら保育園分園や東麻布保育園、(仮称) 五色橋保育室の開設など、保育定員の確保に取り組みます。
- 居宅訪問型保育事業の対象者を医療的ケアが必要な児童だけでなく、保育が必要で認可保育園等に入園希望をして入園できなかった0歳児から2歳児までの児童に拡大します。
- 新たな私立認可保育園や認証保育所、病児・病後児保育室の開設に向けて誘致を行うとともに、賃借料や改修費、開設準備経費の補助を行います。
- 保育施設における保護者負担の軽減を図るため、認可外保育施設保育料助成事業の補助基準額を一律引き上げます。
- 区内保育施設における保育人材の確保・定着を一層支援するため、保育士等宿舍借り上げ支援事業の対象施設を拡大するとともに、区内宿舍を対象に補助基準額の上乗せを行います。

保育定員と待機児童数の推移



● 多様な育ちや学びの支援

1 億 10 万円

- 外国人児童に多様な教育の機会を提供することや国際感覚を身に付けた人材を育成するため、東町小学校で実施している国際学級を南山小学校にも設置します。
- 国際学級を卒業した外国籍の生徒をはじめ、英語能力の高い生徒の更なる英語のコミュニケーション能力向上をめざすため、六本木中学校の英語科国際授業にネイティブコースを新たに設置します。

● 子どもの未来応援施策

6 億 8,929 万円

- 「教育・学習の支援」、「生活環境の安定の支援」、「経済的安定の支援」の3つの柱のもと、経済的問題だけでなく、家庭環境等において様々な問題を抱える家庭・子どもに対しても積極的な取組を行います。

<平成 29 年度「子どもの未来応援施策」主な取組>

	1 教育・学習の支援	2 生活環境の安定の支援	3 経済的安定の支援
所得制限 あり (生活保護・生活困窮者・ 就学援助等)	・学習支援事業 ・学びの未来応援学習講座	・親子ふれあい助成事業 ・コミュニティバス乗車券の発行 ・学習支援事業(再掲)	・生活困窮者等ひとり親家庭自立 支援員の設置 ・就学援助・就学奨励の充実
所得制限 なし	・学生スクールボランティア事業	・産前産後家事・育児支援事業 ・学びの未来応援家庭教育講座 ・学びの未来応援教員研修 ・学びの未来応援ケース会議 ・小・中学校スクールカウンセラー及 びスクールソーシャルワーカー事業	
4 基盤整備 ・子どもの未来応援施策理解促進事業			

● 早期の児童相談所設置に向けた取組

5,230 万円

- 児童虐待や非行、障害など、子どもとその家族が抱える複雑かつ繊細な問題に対し、迅速に切れ目なく対応し、区がすべての子どもの命と権利、未来を守っていく体制を整備するため、児童相談所（一時保護所を含む）を設置します。
- 児童相談所の設置にあたり、子どもと家庭への支援の一層の充実を図るため、児童相談所の機能と児童や家庭の状況に応じた支援機能とを一体化させ、総合的に支援を展開していくための拠点施設として、(仮称) 港区子ども家庭総合支援センターを平成 33 年 4 月に開設します。
- 子ども家庭支援センター、家庭相談センター、母子生活支援施設等の機能・役割を踏まえ、拠点施設の機能の詳細を検討し、施設整備計画を策定します。
- 専門的な見地から有識者の意見及び助言を求めるため、港区児童相談所移管検討委員会に専門部会を設置します。

● その他の取組

事業名	予算額
緊急暫定学童クラブ	7 億 8,715 万円
放課 G O → クラブ[芝、麻布、赤坂、子ども家庭課]	4 億 225 万円
子育てひろば等事業	3 億 3,986 万円
小・中・幼情報機器整備	3 億 2,092 万円
子育てサポート保育	2,371 万円
学校図書館運営支援事業	2,016 万円
地区委員会活動支援	864 万円

3 住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられるための取組

19億7,356万円

● 健やかな暮らしを支える取組

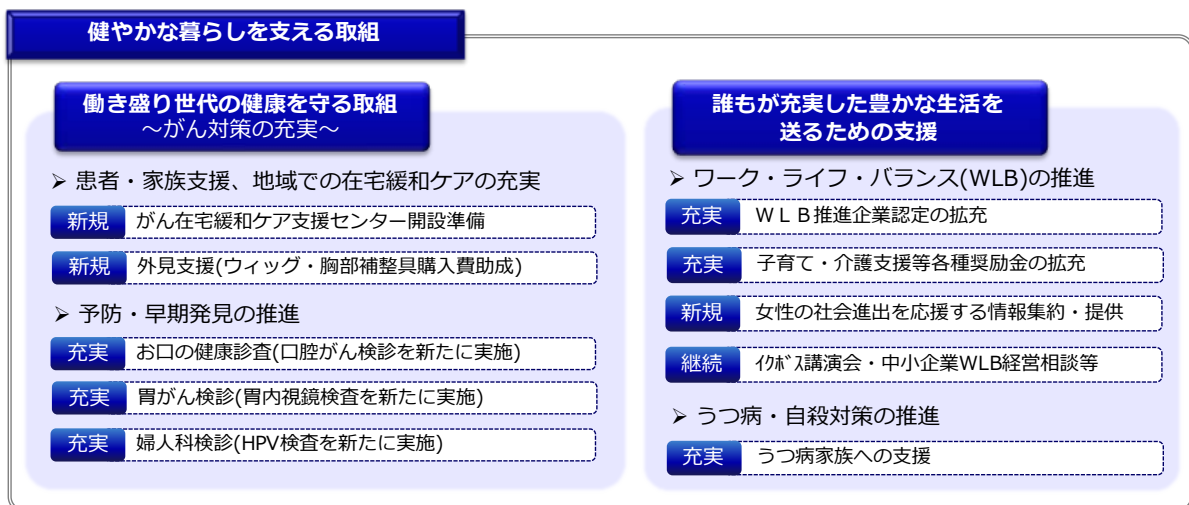
10億6,186万円

◆働き盛り世代の健康を守る取組

- がん患者とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう支援するため、がん在宅緩和ケア支援センターを平成30年4月に開設します。
- がん患者の就労継続等、社会生活を支援するため、外見面での支援としてウィッグ（かつら）や胸部補整具の購入費の一部を助成します。
- がんの予防・早期発見を推進するため、口腔がん検診を実施するとともに、胃がん検診では胃内視鏡検査を実施し、子宮頸がん検診では原因ウイルスであるHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染の有無を調べるHPV検査を実施します。
- うつ病家族を支援するため、うつ病家族教室を実施します。

◆誰もが充実した豊かな生活を送るための支援

- 仕事と家庭の両立支援を一層推進するため、ワーク・ライフ・バランスに取り組む中小企業の認定、育児・介護休業等の奨励金交付を拡充するとともに、女性の社会進出を応援する情報紙の提供、イクボス講演会等を実施します。



● 互いに尊重し、支え合う社会づくり

1億7,901万円

◆地域包括ケアシステムの体制構築に向けた事業の実施

- 地域包括ケアシステムの体制構築に向けて、医療・介護双方の相談に対応できる在宅医療・介護相談窓口の設置等、平成30年度からの本格実施に先駆けて、29年度から赤坂地区総合支所管内で先行実施します。
- 高齢者を介護している家族の休養時等のレスパイト入院等一時入院のための在宅療養後方支援病床を確保するとともに、多職種・多機関連携を推進するための医療・介護関係者の研修会を開催します。

○地域のニーズに沿った新たな生活支援サービスの構築や担い手の養成に向けて、生活支援コーディネーターを配置するとともに、医師等による認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の早期診断及び早期対応に向けた支援を行います。

◆障害者が安心した生活を送るための支援

○タブレット型端末による遠隔手話通訳サービスを、総合支所に加え障害保健福祉センター及びみなと図書館にも拡大するとともに、手話通訳者を配置するなど、聴覚障害者等が区の手続き・相談を一層円滑に行える環境を整備します。

○民間就労支援事業所における生産設備の整備等に要する経費の一部を補助するとともに、就労支援事業所間の連携強化や共同受注の仕組みを構築することで、障害者の就労機会を拡大し、安定した就労環境を整備します。

◆多様な活動を通じたコミュニティづくり

○子どもから高齢者まで、性別や国籍、障害の有無にかかわらず一緒になって楽しめるイベントとして、平成 31 年度の（仮称）区民マラソン大会の実施及び東京 2020 大会のレガシーとしての継続開催をめざします。

○外国人と互いに理解し支え合う環境づくりを推進するため、やさしい日本語による行政情報を発信するとともに、外国人向けの防災ワークショップの実施により、地域の総合防災訓練への外国人の参加につなげる仕組みを構築します。

● その他の取組

事業名	予算額
介護予防訪問事業（介護保険会計）	2 億 3,684 万円
介護予防通所事業（介護保険会計）	2 億 2,183 万円
南麻布四丁目福祉施設整備	1 億 2,211 万円
精神障害者地域活動支援センター等整備	3,424 万円
シティハイツ六本木等複合施設（サービス付き高齢者向け住宅等）維持管理	2,877 万円
区立公衆浴場管理運営	2,866 万円
（仮称）南青山二丁目公共施設整備	2,321 万円
シティハイツ六本木等複合施設（サービス付き高齢者向け住宅）開設準備支援	1,679 万円
シティハイツ六本木等複合施設（障害者グループホーム）維持管理	693 万円
赤坂九丁目福祉施設整備	607 万円
新型インフルエンザ等対策推進	396 万円
高輪三丁目福祉施設整備	330 万円